

令和 5 年度 事業報告

I 事業報告

1 協会を取り巻く情勢と協会活動

令和元年12月以降に、短期間で全世界に広まった“新型コロナウイルス感染症”は令和5年5月8日から「5類感染症」に移行した。

これにより、個人の判断でマスクの着用など感染予防策を講じることができ、ようやく行動制限のない日常生活や経済活動が戻ってきた。

5年度における協会活動も、会員研修旅行、会員親睦ゴルフ大会、新年会など例年通り実施することができた。

2 長岡市に対する要望活動

会員各位の質問・意見を踏まえ、次の4点を重点的に長岡市へ積極的な要望活動を実施し、下記の回答を得た。

(1) 入札制度の「下限価格の引き上げ」について

令和6年3月1日以降の入札公告又は指名通知する建設工事に對して、下限価格を予定価格の90%に引き上げた。

(2) 「普通建設事業費」の増額について

長岡市の令和6年度当初予算中、普通建設事業費、特に単独事業費については、前年比で23.3%の増額となった。

(3) 「包括的民間委託」並びに拠点となる「地域事務所」について

今後も、市と当協会との間で十分な意見交換を重ねながら進めていきたい。

(4) 市発注工事に関する工事書類の簡素化・電子化について

今後とも、当協会と協議して積極的に推進していきたい。

※ 当協会の役員と市民クラブとの意見交換会を昨年引き続き開催し、長岡市に対する要望活動に関する助言・指導を得た。

3 予算運営

当協会の受注額は、平成28年度から毎年減少してきたが、令和5年度は7年ぶりの増加に転じ、100億円を超えた。

収入では、会費の徴収を、例年通り令和5年度も引き続き会費基準表の級を1ランク下げて適用した。

支出では、これまでの事業内容を精査して受益者負担の適切な導入を行うなど、限られた予算を効率的に執行するとともに経費節減に努めた。

4 協会事業等の取組み

(1) 災害時の応急対応及び復旧支援事業

- ① 長岡市と締結している「災害応援協定」による災害応急要請はなかった。
- ② 例年どおり長岡市の道路等の除雪、要援護世帯の屋根雪下ろし制度等に積極的に協力した。

(2) 環境美化運動

各地域で開催される「まつり」の清掃活動等に地域の多数の会員が参加した。

- ① 長岡地域は、「長岡まつり大花火大会」の花火会場早朝清掃
- ② 小国地域は、「小国桜まつり」の会場設営及び清掃活動
- ③ 栃尾地域は、「栃尾遊雪祭り」の会場準備活動

(3) 建設業の施策の普及及び調査研究

会員研修旅行を10月12日～14日の間で実施した。

5 広報・情報提供

(1) 広報誌の発行

広報誌「ながおか建設だより」を1月22日に発行した。

(2) ホームページの更新

協会の活動状況や経営状況等・必要な情報を広く伝えるため、ホームページの逐次更新した。